

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	国立公園内生物多様性保全対策費		<b>担当部局庁</b>	自然環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成15年度～		<b>担当課室</b>	国立公園課		課長 鳥居 敏男		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	自然公園法第2条第7号 自然公園法第3条第2項 自然公園法第20条第3項 自然公園法第38条～第42条		<b>関係する計画、通知等</b>	白山生態系維持回復事業計画 生物多様性国家戦略2012-2020 国立公園における生態系維持回復事業取扱要領				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国立・国定公園における動植物の保全方針を策定し、保全方針を踏まえ、国立・国定公園毎に対象種に併せた行為規制、生息地管理、生態系維持回復事業等の保全施策を実施するための保全計画を策定し、国立・国定公園内の動植物や健全な生態系の保全を図る。さらに、利用調整等の管理手法の検討及び実施を通じて、過剰利用や生態系の攪乱を防止する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	国立・国定公園における動植物種の生育・生息・分布把握、保全すべき動植物種に応じた適切な保全施策の状況把握等の事項を調査し、調査結果の整理・分析を踏まえ、国立・国定公園における動植物種の保全計画策定のための保全方針を策定する。 また、生態系維持回復事業計画に基づき、新たな外来植物の侵入や里山の草刈り等の人為的な管理停止の影響により地域固有の生態系に影響が生じている地域において、計画に沿った対策を講じ、効果をモニタリングしながら順応的な保護管理施策を実施する。さらに国立公園のうち、石垣、知床、大台ヶ原において利用調整や立入規制による生態系管理手法の検討、利用調整地区制度の実施を行う。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	68	55	50	88	86	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	68	55	50	88	86	
	執行額	65	50	41				
執行率 (%)		95	93	82				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	国立公園内における捕獲等の規制対象となる動物の検討、希少動植物種等の生息・生育地の管理推進、生態系維持回復事業計画の策定推進及び計画に基づく事業実施、利用調整等の管理手法の検討等、多様な手法を組み合わせて、国立公園における生物多様性保全の質を向上させる事業であるため成果目標を示すことは困難。			達成度	%	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国立公園内生物多様性保全対策事業地域数			箇所	11 ( 11 )	9 ( 11 )	6 ( 6 )	— ( 5 )
<b>単位当たりコスト</b>	当該事業は、国立公園内の規制対象となる動物の検討や希少動植物種の生息・生育地の管理推進、利用調整等の管理手法の検討など国立公園の生物多様性の保全に資する多岐にわたる事業内容となっており、事業内容や事業実施地域により状況が異なるため、単位あたりのコストが評価できる性質のものではない。		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	88	86					
	計	88	86					

事業所管部局による点検								
		項目	評価	評価に関する説明				
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	近年では多様な野生動物植物が生息・生育する生物多様性の豊かな地域はそれをもって優れた自然の風景地として評価されるようになり、これらの保全に係る国民のニーズは高い。また、国立公園の規制対象種の指定や利用調整地区の管理等は自然公園法に基づき環境大臣が行うものであり、国が実施すべき事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○					
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札により支出先を選定することを原則として少額のものにあっては複数者から見積りを取得し、最も安価な者を支出先として決定しているため、競争性を確保した上での適切な支出先を選定している。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○					
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—						
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業の成果により、保護もしくは駆除すべき生物の分布状況等が把握され、生態系管理手法の検討が進み、利用調整地区の管理が適切に行われていること、また専門家や地域の関係者からなる協議会等を持つことにより事業の進捗状況の確認を行っていることから実効性や成果物の活用は十分確保されている。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○					
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	なお、国立公園における動植物の保全方針の策定は、野生生物課の希少野生生物保護対策費で類似しているが、当該事業では希少野生生物保護対策費の対象とならない国立公園の景観要素・生物多様性に不可欠な動植物種を対象としている点で役割分担としている。				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名					
点検 結果	環境省において、発注時点からその内容を把握しながら実施するとともに、環境省本省と地方環境事務所が協力して、当該事業の執行に際して期間全体にわたって指導・監督に努めており、資金の流れ及び費目・用途の妥当性は確保されている。 特に、現地調査等については環境省において事前指導を行った上で実施させるとともに、担当自然保護官が現地の調査に関する連絡調整、調査実施前には調査計画(時期、内容、体制等)や使用する備品等についても確認する等、双方から必要な助言・指導を行っている。 また活動実績についても概ね達成されていることから成果目標の達成に向けて順調に業務が進められており、効果的且つ効率的な執行が確保されている。							
外部有識者の所見								
行政事業レビュー推進チームの所見								
現状 通り	引き続き効率的な執行に努めること。							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況								
縮減	精査の上、必要最小限の金額を要求する。							
備考								
関連する過去のレビューシートの事業番号								
	平成22年	176	平成23年	169	平成24年	178		

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

C.株式会社野生動物保護管理事務所			G.(株)スペースビジョン研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外注費	現地調査	1	人件費	主任技師等	1
人件費	のべ30人日	0.7	その他	印刷製本費、会議費、一般管理費等	0.5
一般管理費		0.31			
印刷製本費	印刷製本費	0.14			
消費税		0.12			
消耗品費	コピー代一式	0.10			
賃金	のべ68時間	0.07			
旅費	旅費11回	0.04			
諸謝金	のべ1人日	0.02			
雑役務費	宅配	0.01			
会議費	お茶15杯	0.002			
計		2.5	計		2
D.株式会社一成			H.株式会社ニュージェック		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	白山国立公園外来植物分布把握業務	4.4	人件費	技師A等	0.6
<p>〔本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼〕</p>			その他	旅費、印刷製本代、借損料、会場費、一般管理費、消費税等	0.5
			<p>〔本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼〕</p>		
計		4.4	計		1
E.株式会社アドプランツコーポレーション					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成24年度西海国立公園指定植物調査業務	1.3			
<p>〔本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼〕</p>					
計		1.3	計		0
F.環境コンサルタント株式会社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	環境コンサルタント株式会社	5			
<p>〔本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼〕</p>					
計		5	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 株式会社地域環境計画

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社地域環境計画	自然公園における法面緑化に関する情報収集業務	0.9	少額随意契約	—

B. 一般財団法人自然環境研究センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人自然環境研究センター	指定植物選定基準・方針等検討に関するヒアリング業務	0.9	少額随意契約	—

C. 関東地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 野生動物保護管理事務所	平成24年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域における生態系維持回復のための調査業務	2.5	4	100.0

D. 中部地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社一成	白山国立公園外来植物分布把握業務	4.4	随意契約	—
2	環白山保護利用管理協会	白山国立公園外来植物防除業務	1.7	2	58.7
3	株式会社橋本確文堂	外来植物パンフレットの改訂版作成業務	0.7	少額随意契約	—

E. 九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社アドプランツコーポレーション	西海国立公園指定植物調査業務	1.3	4	67.51
2	いであ株式会社沖繩支社	西表石垣国立公園指定植物検討業務	1	少額随意契約	—

F. 北海道地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	環境コンサルタント株式会社	知床国立公園適正利用等検討業務	5.3	3	98.6
2	公益財団法人知床財団	知床国立公園知床半島先端部地区適正利用促進業務	2.7	1	94.4
3	公益財団法人知床財団	知床国立公園知床五湖等利用適正化検討業務	2.1	1	82.2
4	株式会社海洋探査	道東地域湖沼におけるウチダザリガニ生息状況等調査	1	少額随意契約	—
5	公益財団法人知床財団	知床国立公園知床五湖利用調整地区情報システム改修	0.9	少額随意契約	—
6	知床ガイド協議会	知床国立公園知床五湖利用調整地区における利用者意向等調査	0.9	少額随意契約	—
7	公益財団法人知床財団	知床国立公園知床五湖利用調整地区ヒゲマ対処法研修	0.8	少額随意契約	—
8	株式会社知床ネイチャーオフィス	知床国立公園知床五湖・カムイワッカ地区自動車利用動態解析	0.7	少額随意契約	—
9	株式会社須田製販	知床国立公園知床五湖利用調整地区制度リーフレット印刷	0.7	少額随意契約	—
10	公益財団法人知床財団	知床国立公園知床五湖利用調整地区植生・歩道状況調査	0.6	少額随意契約	—

G. 近畿地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)スペースビジョン研究所	吉野熊野国立公園西大台ヶ原利用調整地区調査検討業務	1.6	2	85.9
2	デジアナコミュニケーションズ(株)	吉野熊野国立公園西大台ヶ原利用調整地区利用申請コンテンツ維持管理業務	1.4	少額随意契約	—
3	(株)ビッグウェーブ	生物多様性関連業務等に関する資料作成、整理作業及び既存文書データの電子データ化のための入力作業の補助に係る派遣業務	1.3	4	48.9
4	竹田印刷(株)関西事業部	吉野熊野国立公園西大台ヶ原利用調整地区ガイド冊子・ガイドリーフレット増刷業務	0.8	少額随意契約	—
5	(株)スタッフジャパン	吉野熊野国立公園等に関する資料作成、整理作業及び既存文書データの電子データ化のための入力作業の補助に係る派遣業務	0.8	2	63.8

## H. 九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ニュージェック	西表石垣国立公園川平石崎海域公園地区等利用調整検討業務	1.5	7	35.2
2	株式会社ニュージェック	西表石垣国立公園川平石崎海域公園地区等利における生物影響検討業務	0.9	少額随意契約	—
3	竹富町ダイビング組合	西表石垣国立公園鹿川中瀬及び鳩間島パラス海域公園地区における適正利用検討業務	0.6	少額随意契約	—
4	(株)オキジム 八重山支店	西表石垣国立公園利用調整検討に係る消耗品購入業務	0.1	少額随意契約	—
5	ふなうき丸じゃじゃまる	西表石垣国立公園利用調整検討等に係る傭船業務	0.1	少額随意契約	—
6	(株)吉田印刷所	西表石垣国立公園利用調整検討に係る消耗品購入業務	0.1	少額随意契約	—
7	(株)エクサイト	西表石垣国立公園利用調整検討に係る消耗品購入業務	0.02	少額随意契約	—
8	メイクマン石垣店	西表石垣国立公園利用調整検討に係る消耗品購入業務	0.01	少額随意契約	—